



# 介護の現場から



わたししじん ぱいしかい にゅうきよしや かいごしごと  
私自身の3倍近く生きてきた入居者の世話をする介護の仕事はと  
ふくざつ いま ぎじゅつ じょうしき すうねん お か  
ても複雑であり、今の技術や常識が数年置きにアップデートされ過  
ぎょうかい ねんちか じゅうじねんすう かさ いま まいにち  
去のものになるこの業界、10年近い従事年数を重ねた今でも、毎日  
が新発見と勉強の連続である。とは言え、自身のバランス感覚や常  
じんはつけん べんきょう れんぞく い じしん かんかく じょう  
しき かたよ じょうたい こ かた こと めんかい こ かぞく たし  
しきが偏った状態で凝り固まる事もあり、面会に来られる家族や他施  
せつ かたよ じょうたい こ かた こと なにげ ひとこと ぎもん  
設にいた職員、未経験の新入社員からの何気ない一言や疑問でハツ  
われ かえ こと ていきょう しつ こうじょう つな はっけん  
と我に返る事や提供サービスの質の向上に繋がる発見がしばしばあ  
る。また、普段何気なく世話している入居者の中には、驚くような  
けいきん も ひと ふだんなにげ せわ にゅうきよしや なか おどろ  
経歴を持つ人もいる。こうした人と向き合うには、自身が未完成の  
じやくはいもの ひと ひと ひと ひと あ じしん みかんせい  
若輩者であるという謙虚な姿勢、諦めず職務を全うするプロとして  
せきにんかん もと おも とし と とき ふる ぎじゅつ あ  
の責任感が求められると思っている。歳を取った時、古い技術や悪  
じゅうかん こと な じしん いまし  
しき習慣にしがみついている事が無いよう、これからも自身を戒め  
ていくつもりだ。最後に、武道一筋だった学生時代、故障により選  
しゅせいめい た しつい なかどうじょう あと ぼく む しはん ことば  
手生命を絶たれ、失意の中道場を後にした僕に向けた師範の言葉を  
しようかい からてぎ む しょうじん つづ ぶじん どうじょう はな  
紹介したい。「空手着を脱いでも、空手家であれ」道場を離れても  
ぼく しようがいもくひょう む ちから からてか どうじょう はな  
僕は生涯目標に向かって精進を続ける武人であると同時に、施設の  
そと こま としよ ちから かいごし つづ こころ  
外でも困っているお年寄りの力になれる介護士であり続けたいと心  
おも ゆうりょうろうじん きょうせい さと かいごふくし  
から思う。  
(有料老人ホーム共生の里：M介護福祉士)

## 1月のスケジュール